

西合志東小学校便り



校訓【元気いっぱい 温もりのある 誇れる 西合志東小】 第11号
令和7年12月17日 文責：立山 亮仁

地域の力で彩る新年の門松



本校は、いつも地域の皆様に支えられています。毎年、PTA執行部の有志の方々と、地域の門松づくりボランティアの皆様が協力して、正門に立派な門松を飾ってくださいます。今年も12月13日（土）、小雨が降り、大変寒い中でしたが、正門の左右に一対の門松を立てていただきました。子どもたちの健やかな成長と学校の発展を願い、心を込めて作ってくださった門松は、冬の空気の中で一層凛々しく輝いています。地域の皆様の温かいご支援に、改めて心より感謝申し上げます。

くらしと平和が繋がるとき

11月25日～26日、6年生は長崎市へ修学旅行に出かけました。戦後80年、そして昭和100年を迎えるこの時代に生きる子どもたちは、旅を通して何を学んだのでしょうか。

語り部のハ木道子さんから「平和のバトン」を受け取った子どもたち。原爆資料館で深い衝撃を受けた子どもたち。現地ボランティアの方と歩きながら、戦争の悲惨さと愚かさを改めて感じた子どもたち。そして仲間と囲む食事、温かいお風呂、ふかふかの布団に包まれて眠る・・・その何気ない日常こそが、平和のありがたさであることに気づいた子どもたち。

修学旅行から2週間。子どもたちが抱いた「家族や友だち、目の前の人を大切にしたい」

という思いが、時の流れの中で薄れてしまわないように、ハ木さんから受け取った平和のバトンをしっかりと握りしめ、人を大切にしながら歩んでほしいと願っています。

6年生は今、學習に、委員会活動に、クラブ活動に、学級の役割に、一生懸命取り組んでいます。そして何より「人を大切にすること」に心を注いでいます。

16日（火）の持久走参観日では一人一人が懸命に走り抜き、仲間を全力で応援しました。その姿は、互いを思いやる心そのものです。こうした日々の積み重ねこそが、未来の平和へと繋がる第一歩になると信じています。

ほっと一息⑩ 持久走あるある、の巻



学校は社会に出る前の練習の場でもあります！たくさん失敗していい場所です！様々な経験を重ね、成長につなげていってくれることを願っています（^O^）